

# 2020 AUTOBACS SUPER GT Round 5 たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

2020年10月3日(土)~10月4日(日)

## 決勝 レポート

66 Laps



場所:富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563m

天候:曇り | コース:ドライ | 気温/路温 開始:22℃/路温 29℃ 終盤:21℃/路温 25℃ | 観客動員数:制限付開催

## 16位完走に終わる

2020年 SUPER GT 第5戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。昨日に引き続き、雲はあるが穏やかな一日となった。

10月4日(日)

<決勝 66LAPS / 13:30~>

1周のフォーメーションラップ後、300kmレースのスタートはきられた。スタートを受け持った山内英輝は1コーナーで#65 AMG をパスして3番手に上がるが、スタート直後の500クラスの接触により、その周にセーフティカーが出てしまう。4周目にリスタートとなるが、重たい重量に苦しみ、ポジションを2つ下げて28周目ピットイン、給油とタイヤ4本を替えて井口卓人に代わる。ピット時間で順位をかなり下げてしまったが、井口は必死で追い上げるも順位を上げることは出来ず、16位でレースを終える。なお、GT5



www.rdsport.net

00クラスの優勝は#39 DENSO KOBELCO SARD GR Supra が、GT300クラスは#56 リアライズ日産自動車大学校 GT-R が制した。

#### ■本島監督 コメント



上位に食い込みたかったのですが重量に勝てませんでした。重い重量でも富士で戦える BRZ になった手応えは少し感じますが、もっと速くしないといけませんね。まだまだやれる事はたくさんありますから、SUBARU ファンの方々に早くトップを走る BRZ を見てもらえるよう頑張ります。

#### ■井口 卓人 コメント



予選4番手から良いレースをして、久しぶりに観戦に来られたお客様たちに、速くてカッコいい BRZ を見ていただきたかったのですが、本当に残念な結果になってしまいました。スタートからペースを上げる事が出来ませんでしたし、後半もピットアウトした場所が悪く、タイヤが暖まる前に集団に飲み込まれてしまいました。タイヤが温まってからもペースが悪く、苦しいレース展開でした。レース中も、少しでもバランスを良くするために色々なことを試しながら走りましたが、何をやっても改善されませんでした。やはり、決勝レースはガソリンも多く積みますし、その中でウエイトハンデも背負っているのです、車にとってもタイヤにとっても、かなり厳しい状況でした。次の鈴鹿も同じウエイトハンデで挑む事になるので、少しでも良い車を作り上げられるようにチームと頑張りたいと思います。

#### ■山内 英輝 コメント



スタートで1台パスし、3番手にポジションを上げられたのですが、ラップタイムを上げられず6番手まで後退してしまいました。タイヤ交換も2輪交換ができれば、ポイント圏内も可能だったと思いますが、ウエイトの影響からフロントタイヤの摩耗も厳しく、4本交換で大きくポジションを下げてしまいました。予選までの速さはあり、あとはこのウエイトでも決勝2輪交換が可能にできれば、更に強いレースができるので、しっかり組み立てて次戦も頑張りたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、  
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2020/sgt/report/>もご覧ください

2020年10月4日  
アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



[www.rdsport.net](http://www.rdsport.net)